

3-3 具体的な方策として

- ・手つかずの自然環境を保全します。
- ・地球規模の造山運動(枕状溶岩など)を学べる場所を保全します。
- ・南アルプスらしい色とりどりの岩石を保全します。
- ・自然と人間との共存を考える治水公園を整備します。
- ・川の自然環境に配慮して、構造物を最小限にとどめるよう努めます。
- ・既存の構造物についても改良を検討していきます。

などが考えられます。



設立趣意書

天竜川は、古来より流域の人々に自然の恵みを与え、固有の文化を育んできました。また、「あばれ天竜」という異名をもつように、災害の歴史もあり、人間は川を治める働きかけも営々と行ってきました。

今日、天竜川がもつ多様な価値が、流域の人々から認識されています。そして、天竜川を育んでいくには、流域の人々の意識や意志が反映されていくことが大切となっています。

このような背景から、釜口水門から県境までの天竜川の安全性を保ちながら、自然や歴史・文化をどのように守り育てていくのか、また天竜川の恩恵をどのように活用していくのがよいかなど、多様な議論が求められています。

本川とその支川を含めた天竜川を、次世代にゆめと誇りをもって渡せるよう、そのあるべき未来像を描き出すことを目的に、ここに「天竜川ゆめ会議」を設立します。

H12.9.10

会議の活動5原則

「天竜川ゆめ会議」では、以下の5原則を遵守して活動していきます。

1. それぞれの発言を尊重し、発言に対して否定することはしない。
2. 構成員全員が平等な立場にあり、自由な発言を行う。
3. 天竜川水系は伊那谷の共有財産であることを忘れず、私利私欲のための発言は行わない。
4. 構成員は、天竜川水系のあるべき姿を常に研究し、お互い納得のいくまで議論する。
5. 構成員は、常にゆめを忘れずに、天竜川の未来像の合意形成をめざす。

名簿

上竜グループ

飯沢 将武/飯島 敏雄 /小澤 政史
垣内 彰/木村 和弘/木村 信輔
菟田 靖子/小森 幸恵/酒井 十四男
篠平 良平/鈴木 通夫/田中 健正
田中 弘子/田中 義男/花岡 幸
林 正平/林 正士/林 幸敏
広島 昌/星野 和美/松田 徳男
山本 守保

峡北の会

伊藤 涉/宇佐美 広忠/大石 明敏
大原 千和喜/小椋 昭二/小椋 年男
片桐 昇/木下 貴富/木下 征弘
小林 清志/篠田 英一/清水 好市
下平 勝史/中島 武男/成田 郁美
西尾 豊子/西澤 洌/橋爪 和也
羽場崎 清人/松崎 倫/宮下 勉
矢澤 律子/山内 大助/吉川 篤
吉川 博人

権兵衛の会

穴沢 辰幸/井口 篤/井口 政広/伊藤 助博
稲辺 謙次郎/井上 武彦/内川 義行/太田 伸
沖村 陽一/唐澤 行雄/北原 優美
木下 啓/小林 治道/坂井 雅子
酒井 昌好/征矢 哲雄/竹松 杉人
中島 直/馬場 典子/平岡 直樹
福沢 義臣/溝上 進

南部秘境グループ

伊藤 涉/大平 邦重/片桐 昇
勝野 順/木下 正義/熊谷 喜久男
野竹 秀範/原 敏彦/村上 和彦

天竜かっぱ会

気賀沢 葉子/小池 利康/小池 弘幸/小出 修治
近藤 清繁/逆井 直人/坂下 純/篠田 英一
下平 和幸/下平 治暢/菅沼 重典/土橋 克正
中村 昌二/福澤 浩/堀内 修身/山宮 貞夫
山宮 好枝/米山 富和

天竜川ゆめ会議のメンバーです。